

大船渡湾内観測結果(No.9)

“今月の話題”

湾内の水温は13～14℃台であり、例年よりも1～2℃高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月よりも低くなりました。

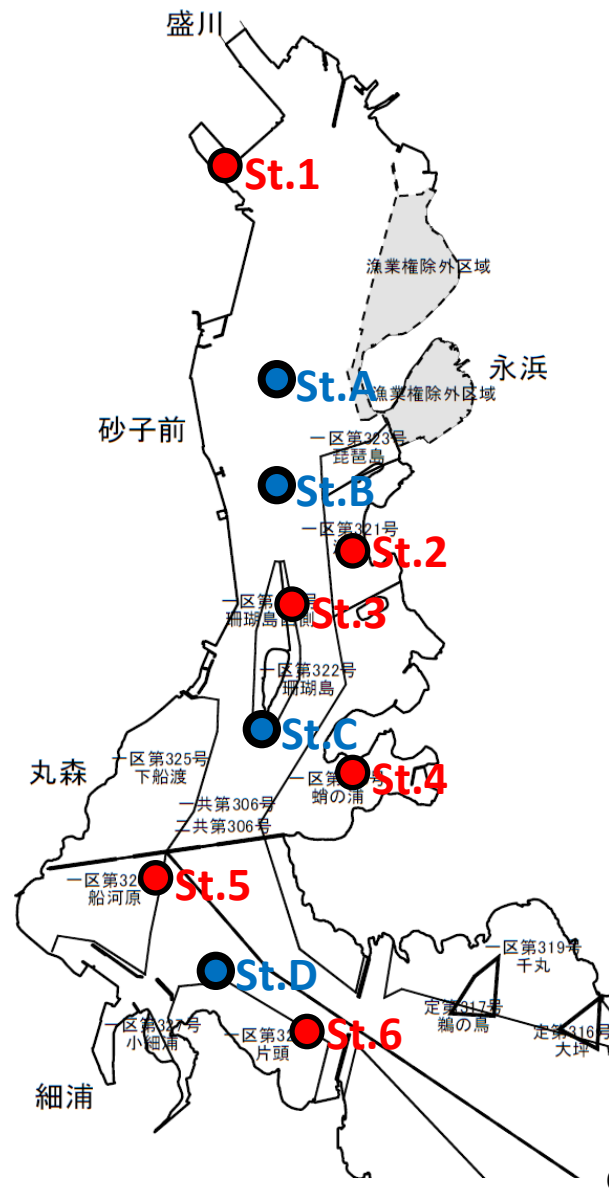
12月11日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は8.0～15.5mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、-0.7～+3.3mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが13.7～14.6℃、水深10mが13.7～14.0℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが+1.4～+1.8℃、水深10mが+0.7～+1.2℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年12月11日					
観測時刻		11:21	11:36	11:01	10:42	10:29	10:11
天候		曇					
気温(°C)		1.3					
風向		N					
風力		2					
水深(m)		8.8	24.2	26.7	18.6	26.1	37.4
透明度(m)		8.0	11.0	11.5	15.5	11.5	12.0
水色		6	6	6	5	5	6
水温(°C)	表層0m	14.6	13.7	13.2	13.5	13.8	13.8
	水深2.5m	14.6	14.1	14.2	13.7	13.9	13.8
	水深10m	-	14.0	14.0	13.7	14.0	13.8
	海底上1m	14.5	14.1	14.0	14.1	13.9	13.9
塩分	表層0m	33.5	33.3	32.5	33.4	33.4	33.6
	水深2.5m	33.7	33.6	33.5	33.5	33.5	33.6
	水深10m	-	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
	海底上1m	33.7	33.8	33.9	33.8	33.8	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	82.6	88.5	88.7	88.4	89.1	89.2
	水深2.5m	85.0	88.7	89.1	88.6	89.3	89.5
	水深10m	-	89.2	89.9	88.5	88.9	89.5
	海底上1m	86.0	87.3	86.7	87.0	88.5	87.6
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8
	水深2.5m	0.9	0.8	1.1	0.7	0.9	0.8
	水深10m	-	0.9	0.8	0.6	0.8	0.9
	海底上1m	0.6	0.5	0.4	0.6	0.7	0.5



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

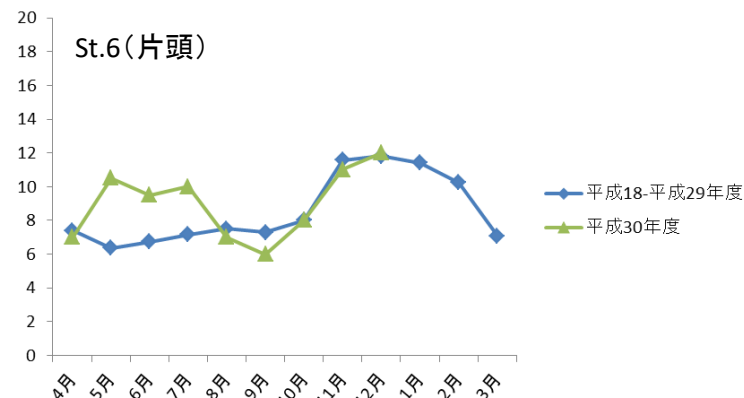
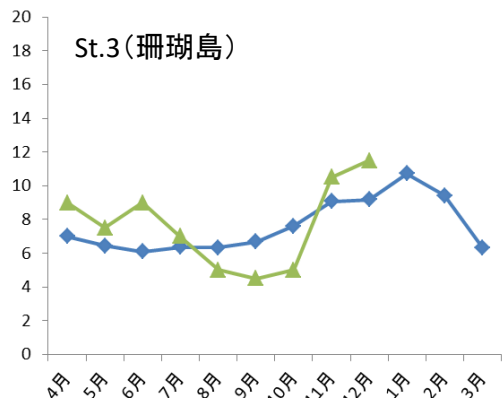
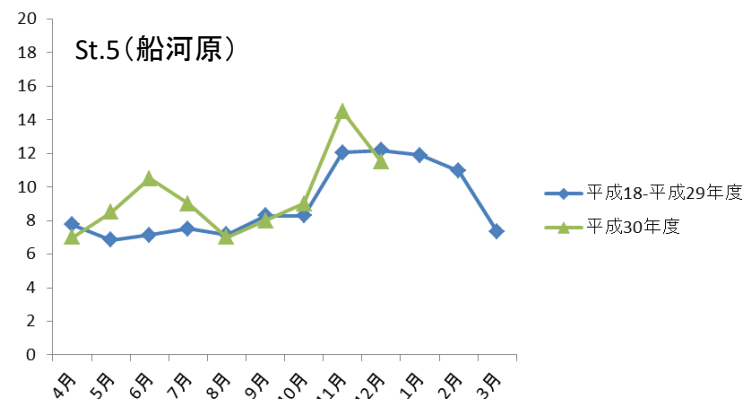
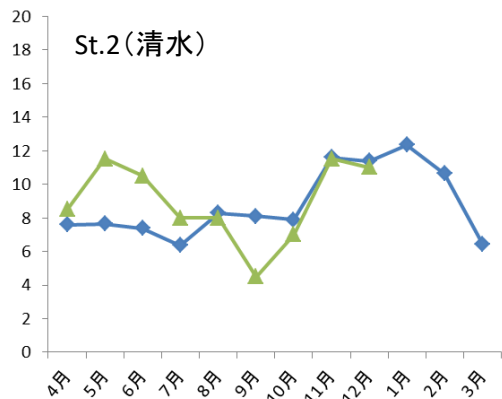
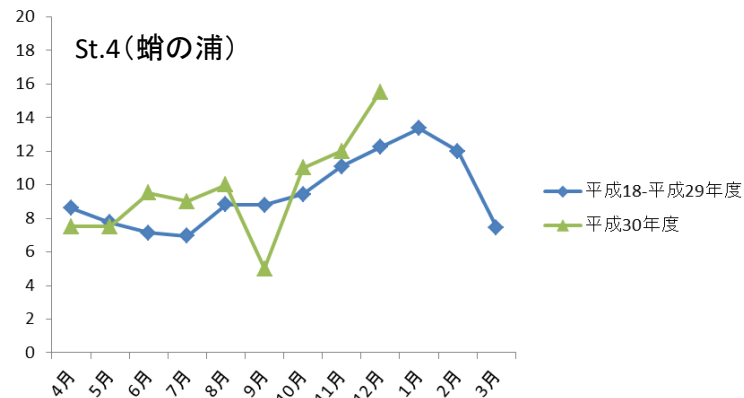
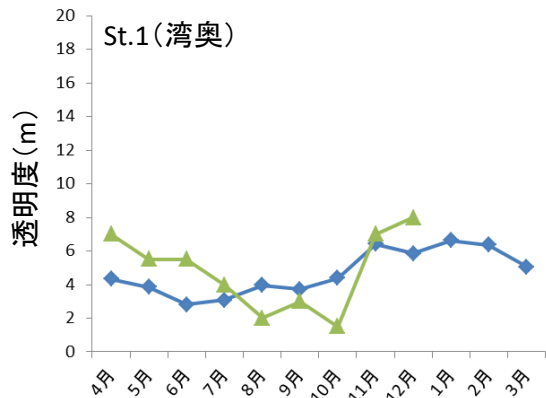


図2 透明度の推移

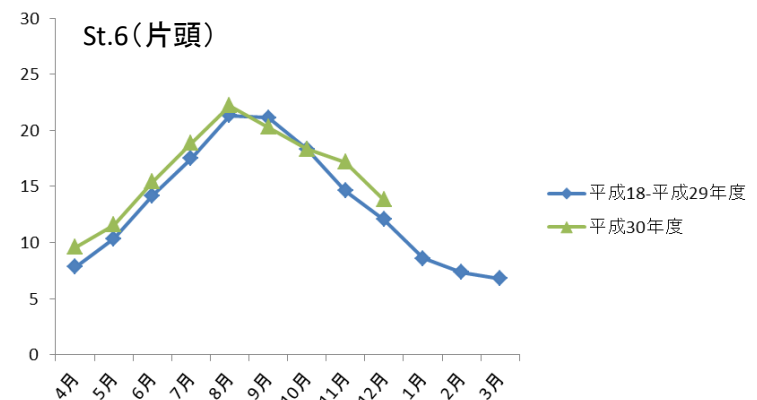
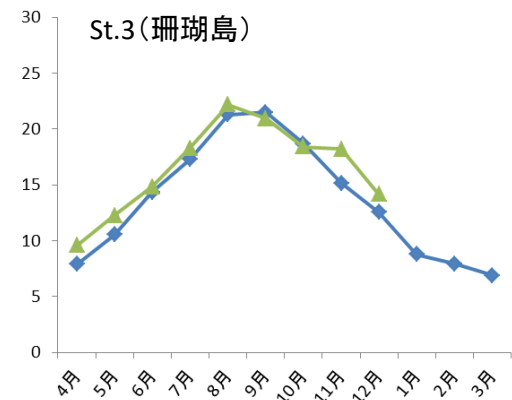
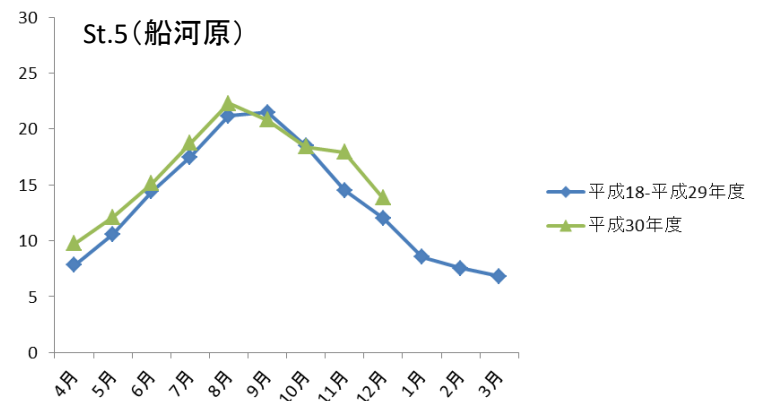
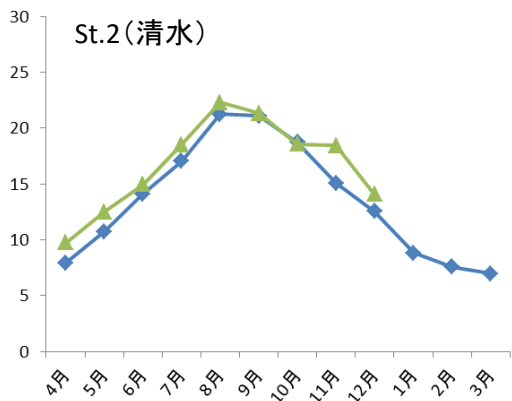
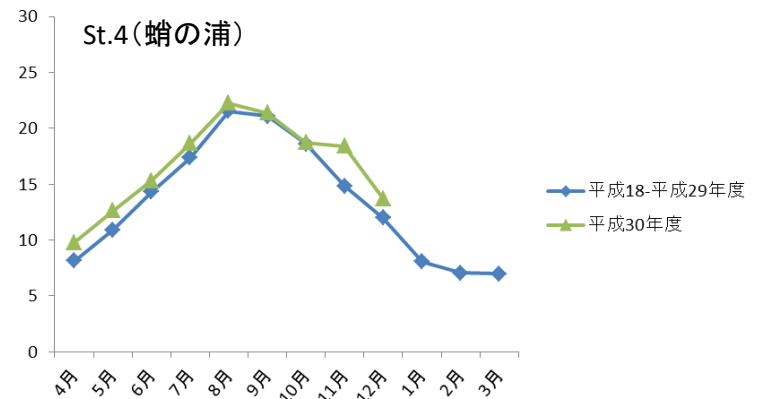
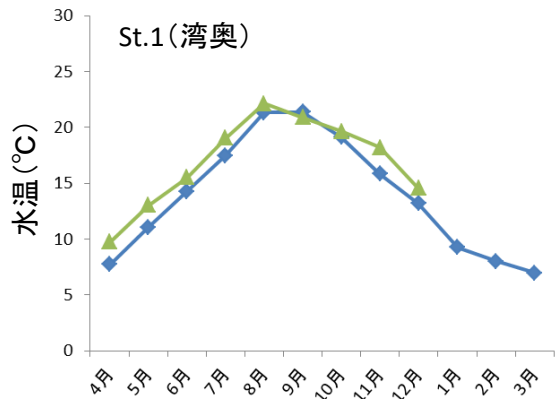


図3 水深2.5mの水温の推移

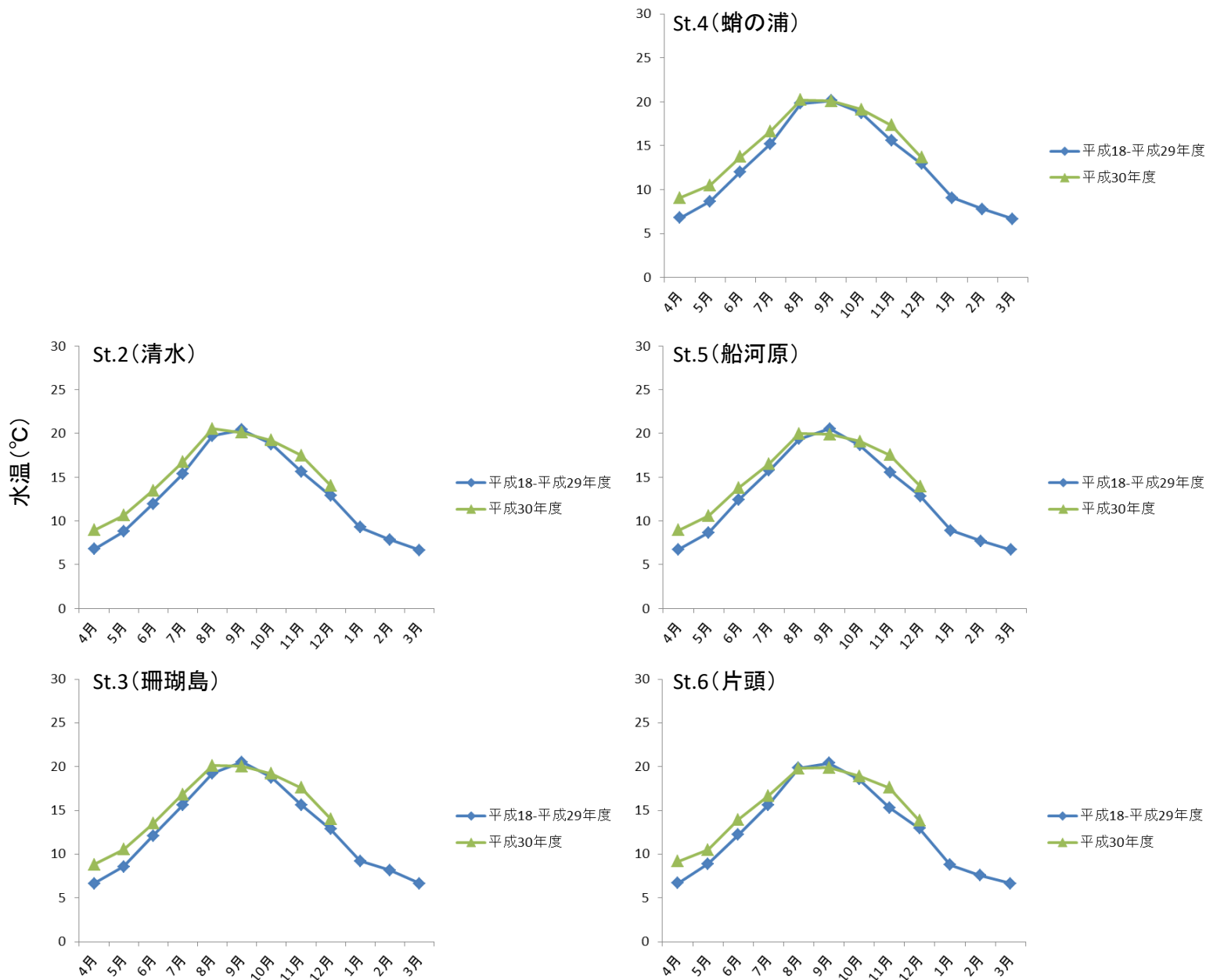


図4 水深10mの水温の推移

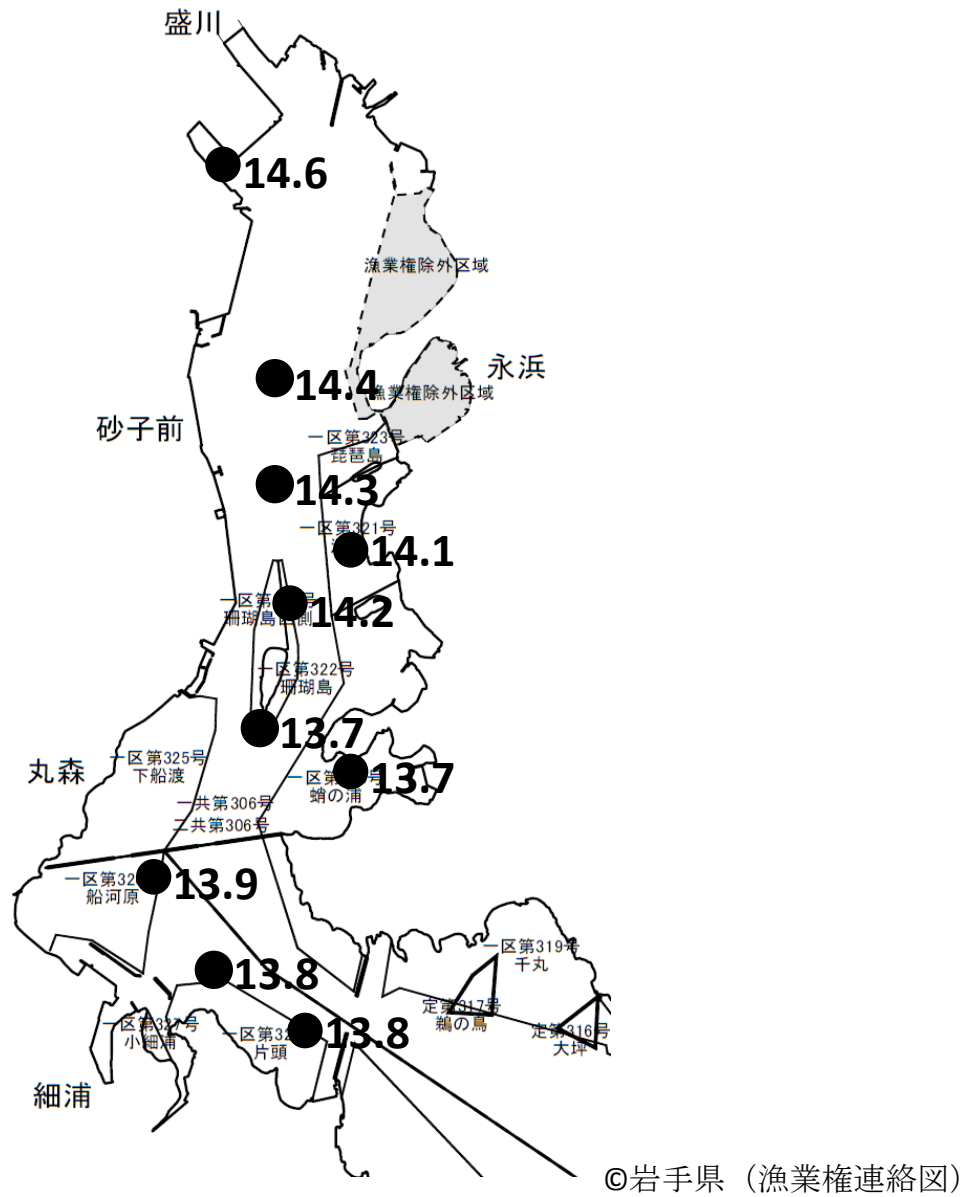


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

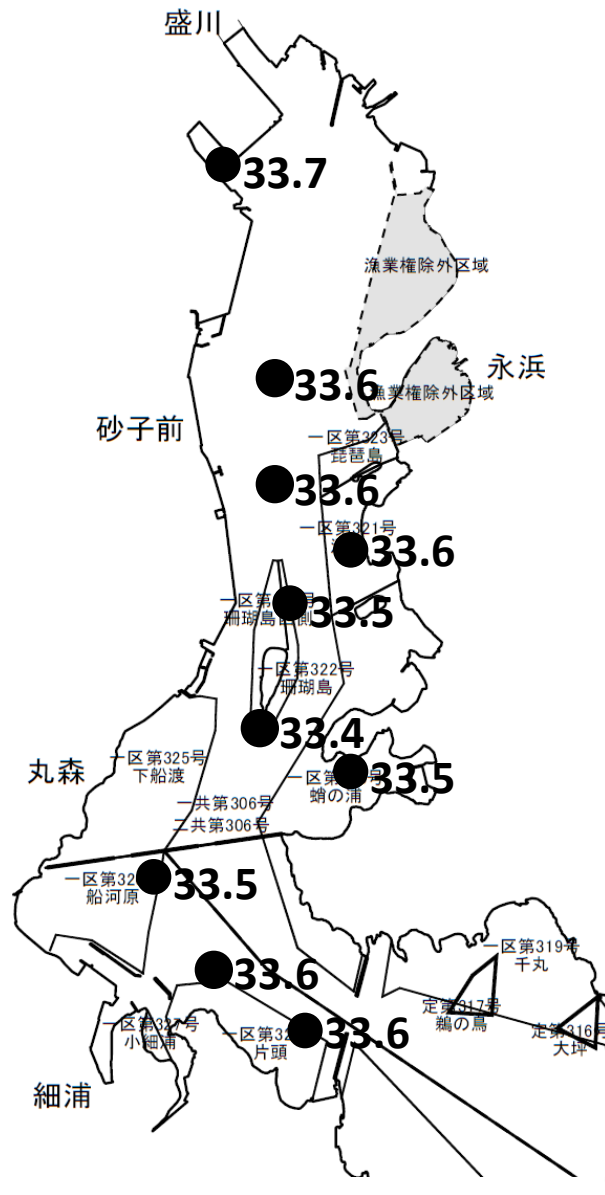


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

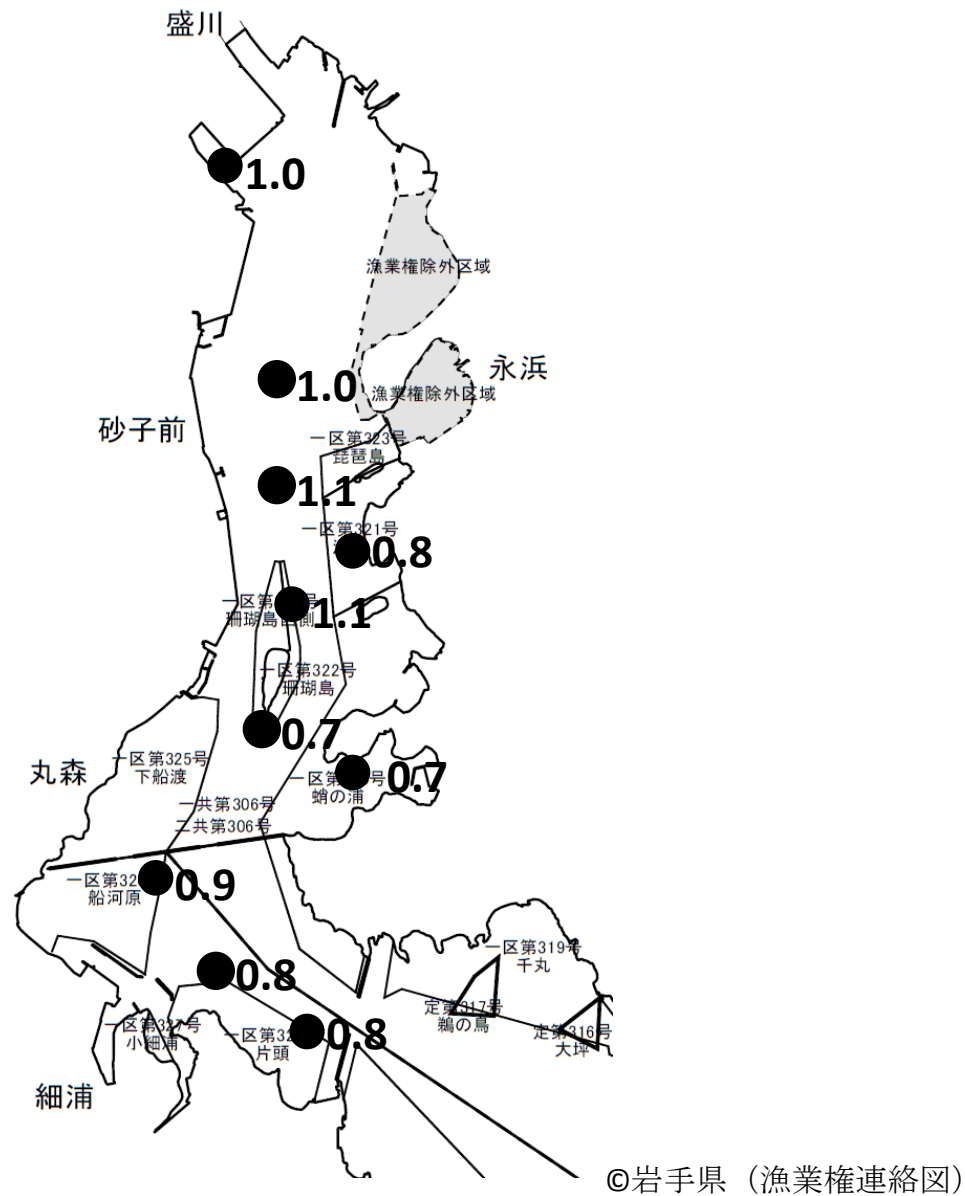


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。